



# 大門小だより

6月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子



令和5年5月30日  
横浜市立大門小学校

## 青葉若葉の日の光

校長 能登 正明

4月のスタートから、はやくも2か月が経ちました。学校生活にも慣れてきた1年生は、堂々と校内を闊歩しています。6年生は、1年生の生活をサポートする中でずいぶんと大人っぽい顔つきになりました。NAS での水泳学習も始まりました。大門小学校の農園でも、子どもたちの植えた夏野菜がぐんぐんと育っています。

6月は、6年生の日光修学旅行が予定されています。日光が一番日光らしく感じられる初夏の修学旅行です。芭蕉が「奥の細道」の中で、「あらたうと青葉若葉の日の光」の句を詠んだのは旧暦の4月、現在の5月頃のことでした。この句のような情景が今度の日光修学旅行でも見られるのではないかと期待しています。

横浜の小学校で勤務していると、日光には修学旅行の引率や下見で訪れることが多くなります。私も教員になってから20回以上、日光に行ったかと思います。何回も行っていると、バスガイドさんの説明もだいたい覚えてしまい、ガイドさんがいない時に代わりとなっているは坂の説明をしたこともありました。

そのような日光の名所について、もう知り尽くしたように思っていたのですが、最近読んだ本でまだまだ知らないことが多いことを感じました。例えば、幕末から明治にかけての戊辰戦争では宇都宮を中心に激戦が繰り広げられました(宇都宮城の戦い)。あの、新選組の土方歳三も旧幕府軍として戦いに参加していたそうです。その際に、東照宮も危うく戦場になりそうなところを、官軍側にいた後の自由民権運動で有名な板垣退助が防いだということで、東照宮前の神橋の傍に板垣退助の像がつくられたそうです。反対側には、今年の大河ドラマ主役の徳川家康のブレーンとして有名な天海僧正の像があります。数年前の大河ドラマの主役の明智光秀が後の天海僧正になったという説もあるようです。

また、日光東照宮には数多くの彫刻があり、特に「三猿」や「眠り猫」が有名ですが、その中に寺社の彫刻としては大変珍しい「茄子」の彫刻があるそうです。「茄子」と言えば、大門小のキャラクターとしてもおなじみですが、今まで気付きませんでした。他にも、東照宮には、日本初の水洗トイレと言われる「西浄」や、サイフォンの原理で水が出てくる「水盤舎」など、興味深いものがまだまだたくさんあるようです。今回の修学旅行では、今まで知らなかったものをぜひ見つけてこようと思っています。

6月は、他の学年も校外での学習や活動が多くなります。梅雨も心配ですが、暑さや熱中症も心配です。でも、晴れた日は、初夏のさわやかな風を思い切り味わいながら、学習や生活を進めていきたいですね。